「社会教育研究における方法論の検討」第12回研究会のご案内

1. 第12回研究会のねらい

「社会教育研究方法の新たな挑戦（その3）」と題し、前回に引き続き若手研究者に自身の研究の意図や葛藤などについて報告頂きながら、従来の社会教育研究や社会教育研究方法を乗り越えていく際の課題を検討したい。

2. 期日

5月10日（日）13時30分～16時00分

3. 会場

北海道大学教育学部 3階大会議室（札幌市北区北11条西7丁目）

（休日入口は東側のみとなっています。札幌駅から来られる際には、経済学部の東側入口（図書館寄り）から入り、2階の廊下を北方向に進むと便利です。）

※立地および交通アクセスについては、下記案内を参照下さい。

http://www.edu.hokudai.ac.jp/graduate_school/map.html

4. 報告題目および報告者

「生活綴方教育の方法論を越えて—鶴見和子の未公開ノートから生活記録運動を読み直す—」
猿山 隆子（京都造形芸術大学通信教育部・非常勤）

5. 連絡

(1) 出欠ご連絡のお願い

準備の都合上、5月8日（金）までに、下記松本までお伝え下さい。

(2) 次回以降研究会開催予定

第13回研究会は夏に開催予定です。調整次第、すぐに学会HP上で通知いたします。

【問い合わせ先】

松本大（弘前大学）dai*hirosaki-u.ac.jp（*を@に置き換える）